



(財)日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 同信会
福岡整形外科病院 広報誌
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL

2013 autumn
Vol.32

サ・エ・ラ

Take Free 

Cà et là

サ・エ・ラはフランス語で「ここかしこ」を意味し、皆様と病院の情報提供・交換をモットーとするものです。



撮影場所：金鱗湖（大分県由布市） 撮影者：山田 仁様

理 念

私たちは「信」を重んじ、医療人としての職業倫理を遵守し、誠実な医療活動をおこないます。
私たちは、整形外科の専門知識と技術を研鑽し、最新、最良の医療を提供します。

基本方針

- 患者さまが個人の尊厳を尊重され、公平に安心して診療が受けられますように医療環境を整備し、常に対話を通じて病状の理解に努め、皆様が満足いただける医療をめざします。
- 診療におけるいかなる個人情報も、秘密は守られプライバシーは厳正に保護されます。一人ひとりの患者さまの病状を把握して、十分な説明をおこない、患者さまとともに最良の治療法を選択します。
- 病院は医療環境の安全管理を常に考え、職員の教育に努めます。
- 職員は病院の理念を十分に理解し、各自の専門技術の向上・研鑽に努力します。
- 地域医療機関との連携を密にして、整形外科の専門医療をもって地域医療の役割を分担します。

Contents

- 01 巻頭あいさつ
- 02 お知らせ
- 03-04 整形外科の疾患 ぼし かんせつしょう 母指CM関節症
- 05 知れば、なるほど！
- 06-07 PICK UP !
- 08 院外研修実績



7年後には・・・



福岡整形外科病院 事務長

寺崎 博一
terasaki hirokazu

今回のサ・エ・ラで、私の投稿も5回目となります。投稿の都度、駄文で申し訳ないという思いに駆られますが、少しの間、ご辛抱のほどを……。

さて、私は今年9月で満64歳となりました。そして先日、7年後のオリンピックが東京で開催されることが決まりました。

東京開催の是非については、様々な意見がありますが、このオリンピック開催の決定という事を契機に、前回の東京オリンピック開催の15歳の自分から、現在までの50年間、そしてこれからの7年間という「時の流れ」ということについて、考えてみる良いきっかけになったような気がします。

前回の東京オリンピックの時、我が家のテレビが白黒からカラーに変わったことをよく覚えています。あれから50年、私にとっては長くも短くもある50年であり、同時にこの国の有様も、大きく変貌した50年であったと思います。

開催までのこれからの7年、そしてそれ以後の歳月、願わくば吾々の子供、孫の世代の人たちにとって、住み易く、暮らし易く、夢の持てる国であってほしいと願わずにはられません。

昨年の9月の朝日新聞「耕論 団塊の世代第2幕」に、昭和22年生まれの蒲島熊本県知事は、

「吾々団塊世代は、窮乏と言う最低の状態から右肩上がり繁栄という最高の状態を伴に経験した。この幸せを後世に繋ぐため、これまでの活動の場から身を引き、バランス感覚としたたかさを生かし、別の分野で社会奉仕する。そんな世代交代が必要」という事を述べられ、強く印象に残っています。

7年後にオリンピック開催という目標があることは、一部のアスリートだけではなく、日本人にとって有形無形・大小にかかわらず、決して悪いことではないと思います。

何故なら7年後という定められた期日は、今、私たちの国が抱えている震災復興や、その他幾多の諸課題解決について前進させるという事を、みんなで共有することが出来ると思うからです。

そして、団塊世代の私も、自分の子供たちや孫たちの世代に、この与えられた7年、そしてそれ以後の歳月への世代交代に向けて、大きな道標となった思いを強くさせる、そんな今回のオリンピック開催決定のような気がしてなりません。

さて、7年後の7月、私は70歳。50年前テレビで見た開会式を、同年の奥方と2人で、新しくなった国立競技場で見ることを思いつつ、それまでは元気でありたいと思う今日この頃です。

お知らせ

地域医療活動の紹介

●特別講演会

平成25年7月3日(水)に、筑紫野市のJA筑紫で行われた特別講演会に、吉本栄治医長が招かれました。「膝痛の原因と予防」について1時間ほど講演し、膝の痛みの改善方法を軽度・中等度・重度に分けて解説しました。講演後の質疑応答のコーナーでは、様々な質問に回答し、受講者の方々が日頃どのような悩みを抱えているかを知ることができました。今後も、地域の方々のお役に立てるよう、協力していきたいと思ひます。



●東若久校区自主防災訓練に参加して

平成25年10月20日(日)、東若久校区自主防災訓練の救出救護班として参加いたしました。

全国で災害に見舞われている今日、他人任せではなく「自分が自分を守る」という思いが伝わり、地域住民の防災意識の高さに驚きました。

消火器訓練で低学年の児童が一生懸命に消火活動に取り組んだり、身障者の方が「きつけど、見とかなないけん。」と言って参加されたり、一人ひとりが真剣な面持ちで防災訓練に取り組まれていました。また機会があれば、協力させて頂きたいと思ひます。

文責 看護師(フロアマネージャー) 森本 敏子



▲応急手当の様子



▲防災訓練の様子
(当日は校区住民約600名の方々が参加)

院内感染防止研修会

テーマ:「当院におけるSSI(手術部位感染)の現状と今後の課題」

平成25年7月29日(月)、当院手術室鶴田看護師長代行による、院内感染防止研修会を開催しました。平成20年4月～平成25年3月のSSI(手術部位感染)を調査しました。

調査結果として、当院では若年層の男性にSSI発生が多い傾向にあることが分かりました。整形外科手術ではインプラント*を留置する手術が多いため、長期にわたり感染予防に努める必要があります。手術中は清潔状態を維持し、換気・埃への配慮など、これからも細心の注意を払っていきます。

また、講義終了後には感染を防ぐための吐物処理の仕方についても実演学習しました。今後も、感染予防への意識を病院全体で高めていきたいと思ひます。

※インプラント・・・体内に埋め込む医療機器や材料の総称



知っておきたい

整形外科の

疾患

解説します！

「母指CM関節症」 (CM関節:指の付け根の関節)



医師 松田 匡弘

日本整形外科学会 専門医
日本手外科学会 会員

1

母指CM関節症とは？

【症状】 物をつまむ時やピンの蓋を開ける時、キーの施錠操作時など母指（親指）に力を必要とする動作で、手首の母指の付け根付近に痛みがでます。進行するとこの付近が膨らんできて母指が開きにくくなります。(図1:症状)

【疫学】 男女比は一般的に2:3で、40歳以上、特に閉経後の女性に多いとされています。また、手指をよく使う、特につまみ動作の多い職業の方に多く見受けられます。

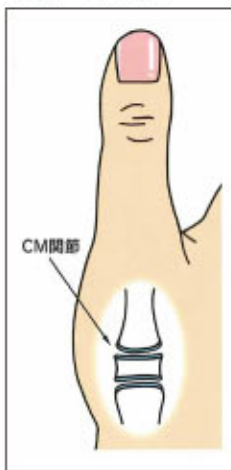
【病態】 母指の手前の甲の骨（第1中手骨）と手首の小さい骨（大菱形骨）との間の関節をCM関節といいます。(図2:CM関節)母指は他指の指と向かい合っつつまみ動作や握り動作ができるように、大きな動きが可能のため、手の機能で最も大切な位置を占めています。

しかしながら、動くために緩さを残した関節でもあり、使い過ぎや老化に伴って関節軟骨の摩耗が起きやすく、進行すると関節が腫れたり、亜脱臼してきます。また外傷後でも同様の症状に至る場合もあります。(図3:病態)

(図1) 症状



(図2) CM関節



使いすぎ
老化
脱臼・骨折

(図3) 病態



2

診断

母指の付け根のCM関節のところに腫れがあり、押すと痛みがあります。母指を捻じるようにすると強い痛みが出ます。

X線の検査でCM関節の隙間が狭くなり(軟骨の摩耗)、骨棘を認めたり(骨の変形)、時には亜脱臼(関節の不適合)を認めれば診断がつきます。腱鞘炎を併発したり、近傍関節へ変形が進行することもあります。



3

治療

保存的加療... 局所安静のため、CM関節用の固定装具をつけたり、固めの包帯・テーピングを母指から手首にかけて8の字型に巻いて動きを制限します。

効果が不十分な場合や症状が強い場合は、薬物療法を併用し、消炎・鎮痛剤(炎症を抑え、痛みを止めるお薬)の内服や関節内へのステロイド注射などを行います。

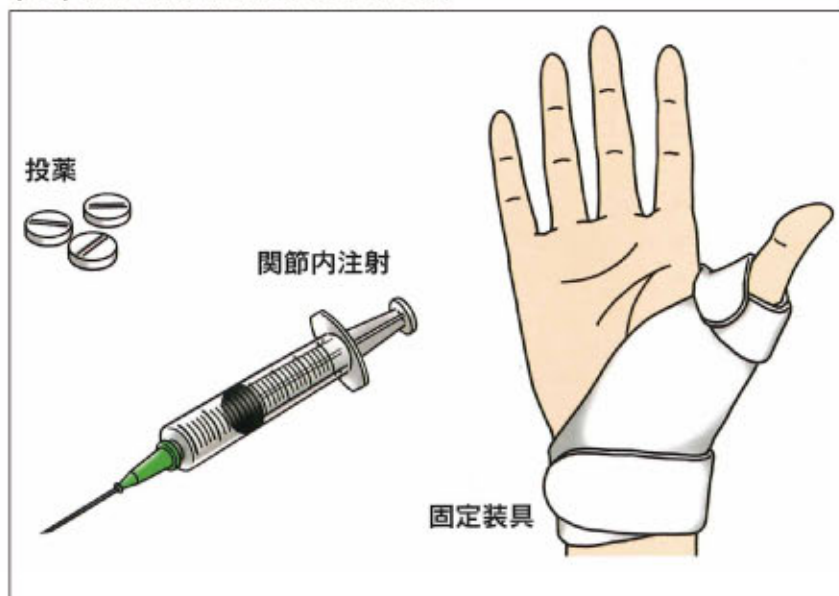
(図4:治療の投薬・関節内注射・固定装具)

手術的加療... 保存的加療が無効な場合は、手術的加療を検討します。病期(進行度)は大きく4段階に分けられ、それぞれに有効な治療法があります。

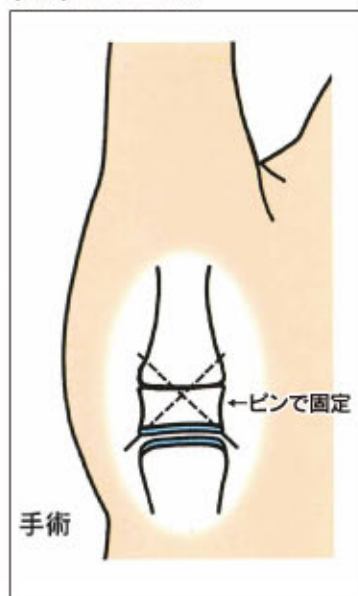
進行している場合は、靱帯のゆるみや、可動域制限、疲れやすさ、繊細な指の動きができなくなります。術式は靱帯再建術、関節固定術や関節形成術などが挙げられますが、症状と画像所見を考慮し適切な手術術式を検討します。

(図5:治療の手術)

(図4) 治療の投薬・関節内注射・固定装具



(図5) 治療の手術



気になっていること・心配していることがあれば、ぜひ一度ご相談ください。



知れば、なるほど!

患者さまの診療に関する
素朴な疑問を
わかりやすく解説します!

MRI について

放射線科 川崎 久充

放射線科の画像検査には、X線撮影、MRI、CTなどがあります。それぞれ見える所が違うため、病態によって撮り分けていますが、今回はその中でもMRI検査についてお話したいと思います。

◎ MRIとは?

Magnetic Resonance Imaging (磁気共鳴画像)の略語で、磁気と電波を利用して、あらゆる断面の画像を得ることができる撮像方法です。撮像時はトンネルの中に入って検査を行います。また、X線を使いませんので、いわゆる放射線被ばくもありません。

◎ 検査を受ける時の注意は?

強い磁力の中で検査を行うため、心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方や人工内耳の方は検査ができません。手術等で体内に金属が入っているような方もその金属の材質によっては検査が出来ないことがあります。また、MRI室内では時計・磁気カード・電子機器等も壊れてしまうことがありますので持ち込むことはできません。

※MRI本体は大きな磁石でできていますので、金属を持ち込むと非常に危険です。そのため、事前に患者さまにチェックリストを書いて頂き、さらに検査前にスタッフがチェックを行うことで安全な検査を心掛けています。

◎ 当院でのMRI検査

〈膝関節・腰椎・頸椎・肩関節・股関節・手関節・足関節〉など
整形外科領域の疾患に対して
行います。

検査時間は20～30分かかります。

◎ MRI検査のながれ

- ① MRIは予約制となっていますので、主治医が必要と判断するとMRIの予約を行います。
- ② 次に医師や看護師がMRI検査の事前チェック(問診)を行います。
- ③ 検査当日に来院、受付をして頂き、着替え&最終チェックを行った後、MRI室内に入り検査を行います。

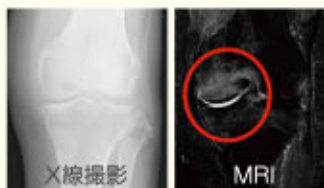


◎ MRIの利点

X線写真やCT検査では分からない骨の中の状態や筋肉の炎症などを映し出します。

例1 左膝の状態

左側のX線撮影では骨の状態は分かりません。痛みの原因を探るためにMRIを撮ると骨内の浮腫をおこしている事が分かります。(右図赤丸)

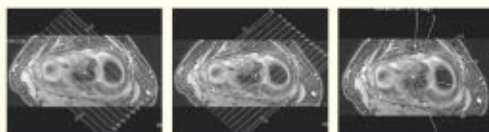


例2 半月板の状態(右膝)

通常は3mm程度の厚みで撮像していますが、当院では特殊な撮像を追加しています。1mmの厚みの画像を約120枚取得することで、より細かい情報が得られ、診断に有用な画像を提供できます。



X線撮影では半月板の様子は分かりません。MRIを撮像することにより評価ができ、さらに後であらゆる断面で見る事で、より詳細な情報が分かります。(下図)



例3 軟骨の状態(右膝)

X線撮影でも関節の隙間は確認できますが、軟骨自体の状態を知る為にはMRIを撮像します(下図赤丸)。半月板と同じくあらゆる断面での評価が大切です。検査時間が長いので当院では軟骨を撮像するための特殊撮像を行っています。



今回は膝関節の画像を中心にお話しましたが、全ての部位において工夫して検査を行っています。また、目的(半月板、靱帯、軟骨、筋肉、骨など)によって条件を変えて情報を得る必要があるために、MRI検査は時間が長くなってしまいます。あまり心地よいものではないという意見を耳にしますが、治療を進める上で多くの情報が得られる大切な検査です。放射線科では患者さまの検査における不安を少しでも和らげ、診断に役立つ画像を提供することを考え、日々努力しております。



PICK UP!

当院が情報紙に掲載されました

テーマ:「変形性膝関節症の治療」

(株)西日本リビング新聞社発行「リビング福岡」より取材を受けました。変形性膝関節症の初期症状として、歩き始めや立ち上がる時に痛みや圧迫感がある、正座がしにくいなどが挙げられます。膝が痛いとおくうになり、閉じこもりがちになってしまいます。痛みを我慢したり、健康食品や自分で調べたことだけで何かをしようとするのは禁物です。

思い当たることがあれば整形外科での診療をおすすめ致します。



▲「リビング福岡」(平成25年10月発行)

防火訓練

平成25年7月17日(水)、防火訓練を行いました。今回は手術室を火元とし、手術中患者・患者家族役を設定し、病棟の避難と併行して訓練しました。当院における手術室の避難は、まず始めに火の勢いを考慮し、手術を続行するか中断するかを協議します。避難する場合は、手術中患者が避難できるよう創部保護を行い、ストレッチャー・避難マットを使って、屋外に出る流れになっています。

火災はいつ・どのような状況で発生するかわかりません。常に冷静・的確な行動を取れるように、これからも全職員で訓練していきます。

また、日頃の防火対策として、次のようなことも実施しています。

- ・ consent 周りの清掃(毎月1日)
- ・ 火気点検表を用い、業務終了後に電化製品の電源を切ったかを各部署でチェック 1人ひとりが注意していき、防火に努めております。

患者家族に
避難誘導▶◀避難マットを使い
手術中患者を搬送

医療倫理研修会

テーマ
「医療者同士の関係を磨いて患者と〈共有〉の関係を築く」

平成25年9月2日(月)に、医療倫理研修会を開催しました。西南学院大学教授の宮原哲先生を講師に招き、講義を展開していきました。「患者満足は従業員満足の見」とし、まずは医療者同士のコミュニケーションを取ろうという内容で、次のようなことを学びました。

- ・ 言わなくてもわかってもらえるという固定観念は捨てる
- ・ 自分をさらけだして(自分の欠点等)話すことで、相手に誤解されずに済んだり、無意識に心に余裕が生まれる 等

講義中は、隣に座っている職員とも話し合い、終始和やかなムードでした。これからも職員間でのコミュニケーションアップを図っていききたいと思います。



職場体験学習

平成25年9月11日(水)、12日(木)に平尾中学校より5名の学生さんが職場体験に来られました。看護師の仕事や患者体験を行い、病院内で働いている様々な職種について学んでもらいました。最初は緊張していた様子でしたが、徐々に笑顔も見られるようになり、患者さまも可愛らしい看護師姿にとっても喜ばれていました。

入院経験がなく、お見舞いもそうないという子が殆どで、病院で働く人々や、入院する患者さまのことは身近な存在ではありませんでした。ですが、患者さまとの対話や患者体験・仕事体験を通して少し具体的な想像が出来たのではないのでしょうか。

まだ学生さんたちは夢を探している途中です。この体験をきっかけに医療業界に興味を持ち、いずれ同じ世界で働けたら素敵だなと思います。

文責 4階病棟看護師 木下 真衣



職場体験の様子

小林先生(元当院理事長・院長) 仏勲章受賞

当院の元理事長・院長である小林先生が、ナポレオンが制定した「レジオン・ドヌール勲章[※]」をフランス政府から受章することが決まりました。小林先生は福岡日仏協会の会長を務め、福岡・ポルドー両市の姉妹都市提携(1982年)や、日仏整形外科学会設立(1987年)にも奔走し、これまでに両国の医師計約120人の交換留学を後押ししました。そうした取り組みが、今回の受賞に繋がりました。

※レジオン・ドヌール勲章・・・ナポレオンが創設したフランスの最高勲章。文化・科学などの分野において、功績を残した人を表彰し、フランス大統領が決定する。

院 外 研 修 実 績

～ 講演・学会発表・研修会参加実績等 ～

平成25年7月～平成25年9月

※ 医師については学会発表・講演のみの掲載にしており、学会参加の掲載は省略しています。

■ 医局

日 付	学 会 名	演 者	演 題	場 所
8.10～11	第9回西中国外傷治療研究会	徳永真巳	大腿骨転子部骨折の治療	広島
9.5～8	Asian Pacific Insall Legacy Symposium	碇 博哉	Knee Arthroplasty in Patients Older Than 90 Years	台北
9.20	第9回平成股関節研究会	徳永真巳	不安定型大腿骨転子部骨折の治療戦略	福岡
9.28	第17回西播磨整形外科医会学術講演会	王寺享弘	膝関節単顆置換術一変形性膝関節症における位置付け	姫路

■ 放射線科

日 付	学 会 名	演 者	演 題
8.2	第17回症例勉強会 ～骨・関節領域～	釘宮 慎次郎	踵骨骨折
		川崎久充	距踵関節撮影について
		高濱友寛	距踵関節撮影について 第2報
9.19～21	第41回日本磁気共鳴医学会大会	辻 英雄	前十字靱帯におけるMagic Angleの検討

■ 看護部

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.4	WLBインデックス調査	2名
7.5	看護研究Ⅱ ～やってみよう臨床での看護研究～	2名
7.6～8.4	医療安全管理者養成(7日間)	1名
7.7	看護必要度院内指導者研修会	8名
7.9	フィジカルアセスメントと急変時の対応	3名
7.10	ICT交流会	2名
7.10	コミュニケーションⅠ(基礎編)～コーチング～	4名
7.11	知っておきたい心電図の基本	2名
7.13	医療機器安全基礎研修会	1名
7.13	インфекションコントロール研修会	2名
7.19	労務管理・メンタルヘルス	2名
7.20	FOSS研鑽会 第96回勉強会	2名
7.24	ナースのためのメンタルヘルス	2名
7.25～9.12	看護研究コース(5日間)	1名
8.2	医療KYT研修会	1名
8.25	感染対策講演会	3名
8.26	フィジカルアセスメントの基礎知識	2名
8.30	がん患者と家族へのスピリチュアルケア	1名
9.3	知っておきたい薬理学	3名
9.9～10	看護職のための院内教育(2日間)	1名
9.11	患者さんもあなたも楽ちゃん	3名
9.18～1.17	看護管理者研修セカンドレベル	1名
9.19～26	研修責任者研修	1名
9.26	臨床倫理の考え方	6名
9.27	WLB実践報告を聞く	2名

■ 看護部学会

日 付	研 修 会 名 等	参加者
9.13	第44回 日本看護学会	3名
日 付	学 会 名	演 者
9.13	第44回 日本看護学会 示説 「人工膝関節置換術後の褥瘡発生要因の分析」	岡村 由佳

■ 検査科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.10	ICT交流会	1名
7.13	インフェクションコントロール研修会	1名
8.10	輸血シンポジウム	3名
8.25	感染対策講演会	1名

■ 医事課・MSW・総務課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
9/7～8	医療ソーシャルワーカー協会 夏季研修会	2名

■ 栄養課

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.24	福岡市給食施設従事者研修会	1名
7.27	ヘルシーネットワークセミナー	1名

■ リハビリテーション科

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.14	福岡ハンドセラピー研究会主催 ルーキーセミナー	2名
7.20	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
7.28	腰部疾患のリハビリテーション	1名
8.3～4	第31回ハンドスプリント講習会	1名
8.23	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名
8.24	アロマリハビリテーション研究会～総論～	1名
8.31	理学療法士講習会 “体幹に対する理学療法”	2名
9.15	足関節の機能解剖	1名
9.21～22	運動器疾患のリハビリテーション～今～道しるべⅡ	2名
9.25	筑後地区ハンドセラピー研修会	1名

■ 薬局

日 付	研 修 会 名 等	参加者
7.10	ICT交流会	1名

外来診察担当医一覧表

受付時間

曜日	午前(8:30~11:30) ※診察開始 9:00~						午後(13:30~16:00) ※診察開始 14:00~
月	王寺 享弘	宮城 哲	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	松田 匡弘	——
火	王寺 享弘	徳永 真巳※	宮城 哲	真鍋 尚至	松田 匡弘	—	徳永 真巳※
水	吉本 隆昌※	徳永 真巳※	碓 博哉	真鍋 尚至	上杉 勇貴	—	——
木	吉本 隆昌※	吉本 栄治	松田 秀策	碓 博哉	上杉 勇貴	—	吉本 隆昌※・吉本 栄治※
金	王寺 享弘	宮城 哲	松田 秀策	真鍋 尚至	松田 匡弘	—	香月 正昭※・上杉 勇貴※
土	交替であたります(土曜の受付は11:00で終了致します。初診のみの対応です。)						——

※印の医師の診療につきましては、予約を行っております。医事課予約係までお電話ください。
予約受付時間/月曜~金曜 9:00~17:00

※これは平成25年11月1日現在のものであり、都合により変更になる場合もあります。また、学会・出張等により、休診になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
※火・木・金曜日の午後の診療は(再診のみの完全予約制)となります。



- バス**
- 天神(福ビル前或協和ビル前)より 51番
 - 天神(大丸前)より 151番
 - 博多駅(バス停A)より 50番

- 博多駅(郵便局前バス停B)より 65番
- 博多駅(郵便局前バス停C・D)より 64・67番

野間四つ角で乗換え
50・51・151・区1番

- 西鉄大牟田線**
- 高宮駅下車
 - バスに乘換え 50番 51番

降車バス停
血山1丁目



医療法人 同信会
福岡整形外科病院
FUKUOKA ORTHOPAEDIC HOSPITAL

〒815-0063 福岡市南区柳河内2丁目10-50

TEL 092-512-1581 FAX 092-553-1038

<http://www.fukuokaseikei.com/>

【面会時間】平日・土曜 / 13:00~20:00
日曜・祝祭日 / 10:00~20:00

【休診日】日曜・祝祭日 【病床数】175床



日本医療品質評価機構
認定番号 JQ900 号

広報委員会からのお知らせ

広報委員会では広報誌の表紙を飾る写真や絵を随時募集しております。また、広報誌に関するご意見ご感想もお待ちしておりますので、総務課までお寄せください。



Avispa
FUKUOKA

福岡整形外科病院はチームドクターとして『アビスパ福岡』をサポートしています。
頑張れアビスパ!!